

手のひらサイズに閉じ込め愛情

合志盆栽会 阿部 卓美さん(泉ヶ丘)



①出展までには10年近く掛けて世話をします
②九州雅展の10cm以下の部で最優秀賞である雅賞を6年連続受賞
③鉢にも一つ一つこだわっています



「盆栽は季節感や流れを表すなど奥深いです」と語る阿部さん

阿部さんの自宅の庭に並ぶ1,500鉢ほどの盆栽。全て、手のひらサイズの小さな盆栽だ。約18年前、カントリーパークの植木市で、鉢からの高さが20cm以下の小品盆栽を目にしたとき「これは出会いだ。自分でもできるかもしれない」と直感した。当時打ち込んでいたゴルフもすっかり辞め、盆栽にのめり込んだ。小品盆栽の中でも、特に高さ10cm以下にこだわって盆栽を作っている。「小さな木でも、幹には力強さを感じることができず」

夏場は1日に4回は水やりが必要だという。「木の種類に合わせる肥料をあげたり、台風のために盆栽を避難させたりと、世話は尽きません。でも私が世話をしつけないと、みんなダメになってしまふから」

阿部さんが育てた盆栽は、業者を通じ、全国の盆栽展などに置かれる。「自分で育てた盆栽は一目で分かるんです。たまたま見に行った盆栽展で自分の盆栽が並んでいることがあります。」

そのときほど嬉しいことはありません」

11月17日(土)から18日(日)にかけて合志市文化祭がヴィーブルで開催される。盆栽はもちろん、書道や合唱、楽器の演奏など、さまざまな分野の展示や発表が行なわれる。阿部さんは10年以上前から市文化協会常任理事を務めており、こども展示会場のチーフとしてレイアウトやパンフレット制作などを行ってきた。「まずはやっている自分たちが楽しむ。その様子を見て、一緒に楽しみたいと思う人が増えてくれたらいいですね」

これからの目標は、地域に密着した展示会などを通し、盆栽ファンを増やすこと。「私の中で盆栽は、植物とともに遊ぶというイメージです。好きな木を見つければ、世話を覚えて、どんな鉢が合うかを考えていると楽しいですよ」

大切に育てられた小さな盆栽が、大きな愛情をぎゅっと閉じ込め、たくさんの人の目に触れる日を待っている。



あなたの周りの合志人を探しています
企画課 企画広報班(合志庁舎) ☎248-1813

あなたの周りにはキラッと輝く合志人を紹介してください。たくさんの紹介をお待ちしています。

和顔愛語



とにかく快晴だったウオーキング大会と市民まつり。たくさんの人に楽しんでもらえたので、晴れてよかったです。ただ、快晴の中の取材で腕時計型に日焼けしました。腕に文字盤書き込みもかと思うくらいでした。日焼け止めって大切です。

ウオーキング大会には80歳を超える人の参加もありました。ゴールしたあとでも楽しかったですよと笑顔。本当にすごい。私も同じ歳になっても、そんなに元気ではないので、いかに生活を見直そう。いつか。

小山

「合志市自治基本条例」をご存じですか? こう尋ねると、知っているという人はあまりいません。

堅苦しい呼称ですが、要は、自分達のまちは自分達の手で良くしていくというものです。本市では既に、高齢者世帯の支援、子ども食堂、防犯パトロール、遊び場・交流の場づくりなどで多くの方が自治基本条例を具現化されています。地域の困りごとを解決するため、自ら行動して、地域の人々に喜ばれる。何と素晴らしいことでしょうか。微力ながらも、自分に出来る社会貢献はないかな...?

高野

人の動き

人口……62,121 (+ 78)
世帯……24,318 (+ 24)

出生…47 (-21) 転入…211 (-51)
死亡…25 (-10) 転出…155 (-64)

※9月末現在 ()内は前月比

